



藤岡 緑 議員

**問** 学校給食の食材の安全性は。

**答** 主食米は、必要量確保のため令和元年より、減農薬米から本町産の安全性に差がない一般普通栽培米を使用している。他の食材については、食品の検収・保管等の基準に基づき産地を確認しており、令和3年度の使用率は県内産85.1%、国内産は100%である。今後とも生産者の顔が見える安全安心で新鮮な地場産物の活用を進めていく。

**問** 食材の価格高騰で給食費は。

**答** 令和2年度は経済対策として、牛肉・マダイ・ブリの無償提供を受け価格の影響を最小限にすることができた。今年度は小麦等の穀物価格が高騰し、給食費の維持が難しくなってきた。給食費の値上げも視野に入

れながら、コスト削減のための方策や支援を検討していく。

**意見**

子どもたちに影響がないよう、安全性を担保しながら、保護者負担が大きくなるような支援を望む。



育ち盛りは食べ盛り！

**問** 老朽化が進んだ町営住宅のリノベーションは。

**答** 125戸の木造住宅は、老朽化が進み、居住性や設備機能が満たされていない。公営住宅等の計画的な整備を行う中で、居住面積が狭小で耐用年数を超過した木造住宅のリノベーションは困難と判断し、建替えを行う。

**問** ウクライナ避難民への町営住宅提供は。

**答** 2戸ある旨を県に報告。要請があれば速やかに対応する。



曾我部 秀司 議員

**問** 7月・8月は1年の中でも最も熱中症リスクが高いため、実施期間を変更すべきと以前に意見した。この姉妹都市健康交流事業の実施期間案決定までの経緯は。

**答** ①昨年9月に本町からまつまえ町に健康づくりをテーマとした姉妹都市交流を提案。両町で協議し、3か月ウォーキング事業を行うことに。

②ウォーキング競争の表彰式を本町の健康フォーラムを利用することに決定。これは、両町長出席の下、大勢の町民が見守る前で表彰を行うことで、受賞者にとっては晴れ舞台となり、町民に対しても健康づくりのアピールにつながると考えたため。

③健康フォーラムの開催時期は、い

ろいろな行事等を勘案し、10月が最適だと判断。

④ウォーキングの実施期間は、まつまえ町から4月下旬から5月中旬を除いてほしいとの要望があり、記録集計と表彰式準備に1か月を要することから、両町で協議した上で、最終的に6月から8月までが適当であると町長まで協議をして決定。

**問** 職員の中から私と同じくこの時期は熱中症リスクが高い、変更した方がよいのでは、という意見は出なかったのか。

**答** 結果発表の場を健康フォーラムとしていたので、職員の話合いの場で暑いという話は出なかった。

※姉妹都市健康交流事業の詳細については、「広報まごき5月号」P12を参照

